

2019年2月10日

福音書からのメッセージ

これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言った。（ルカによる福音書5章8節）

ある日のことです。イエス様は湖のそばに立っていました。そしてそのそばに、たくさんの群衆が押し寄せてきます。彼らの目的は、イエス様から神さまの言葉を聞きたいというものでした。ルカによる福音書には、イエス様は汚れた霊に取りつかれた人や多くの病人をいやし、ユダヤの諸会堂で宣教された場面がすでに出てきています。群衆は、イエス様のうわさをたくさん聞いていたことでしょう。

一方漁師であるペトロは、群衆と同じようには行動をしていませんでした。彼は舟から上がって網を洗っていました。仕事ですし、大変なことです。しかし彼の姿は暗く、打ちひしがれていました。なぜなら彼らは夜通し苦勞したものの、何もとれなかったからです。何時間も苦勞して魚を追いかけて来たけれども、何の収穫もなかった。次こそは、次こそはと、網を何度も投げてみたことでしょう。しかし一向に魚はかからず、ついに夜が明け、あきらめたのです。

およそ、イエス様の弟子になる直前の姿とは程遠い、ペトロの後ろ姿が目には浮かびます。そしてこれから宣教をしていくイエス様にとってみても、言い方は悪が弟子にはペトロは相応しくないように思えます。しかしそんな彼に、イエス様は声を掛けられたのです。

イエス様はペトロに対し、少し漕ぎだすように頼み、そこで舟の上から群衆に教えました。その後さらに沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をするようにと言います。夜通し漁をしたばかりの彼は、「しかしお言葉ですから」と言われた通りに網を降ろし、



大量の魚を手にしめます。ペトロは実は、この物語の前

にすでにイエス様に出会っていました。しゅうとめがいやされる場面でした。病人のいやし、群衆に対する教え、そして大量の魚、ペトロはイエス様に何を見たでしょうか。彼はイエス様の足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言いました。

決して能力があるわけでもない彼が、一番打ちひしがれているときに声を掛けられる。これがイエス様の招きでした。そしてわたしたちもまた、自分の力ではなくイエス様が目を向け、招いてくださった。こんなわたしを、イエス様が選んでくださるはずはない。そう思うかもしれませんが、でも、確かにイエス様は来て下さいます。イエス様の招きに値するような信仰を持っているわけでもなく、素晴らしい才能があるわけでもない。それでもイエス様は、ただ選んでくださったのです。

恐れながらも、しかしお言葉ですからと一歩沖へ漕ぎ出しましょう。イエス様がいてくださる。そのことを信じて、イエス様と共に歩んで行くのです。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>